

2024年度 下期 宅配事業本部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2024年 10月1日

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	①宅配事業所に従事する全職員が、所属で発生した通勤災害・労働災害を軽視せず、通勤時の「自家用車での事故」、業務中の作業場での「転倒・踏み外し」、トラック荷台での「転倒・転落」などに対して緊張感を持った行動を心掛けると共に自分事として捉え、防止策の実践。 ②既存の「不安全状態」に起因する構内作業の転倒リスクや、配達中の荷台内の転倒・転落に対しての危機管理だけではなく、今後「起こりうるかもしれないリスク」に対しても順次発見・提案を行い、リスクアセスメントを継続させていく仕組み作り。
事業部方針	従業員が、安心・安全に職務に全うできる職場環境を向上していくために、「RAの低減措置」ならびに、重篤災害の撲滅に向けた職場環境作りを目指します。	目標	①重点施策に加え、上期に発生した事案についても同様の労災を発生させない。 ②物量が増加する年末の事前準備として、荷台内のクロス用ラッシングベルトの使用、シャッターの開閉、荷台からの降車手順を再度共有し、繁忙期の労災撲滅を目指す。 ③整理整頓が習慣化されるまで継続し構内作業場での転倒防止、荷台作業時の転落を防止する。 ④配達からの帰着後は「手洗い・うがい」の徹底、事務所常駐者は備品の「消毒・除菌」を定期的に行い、感染症による欠勤者の最小化を全員が意識する。
事業所方針	マニュアルに記載されているリスクだけでなくリスクを予知し、「自身で回避」・「自身で予測」出来る取組みを強化し、CMで働く社員と家族を守ることを継続します。 ①所属長・教育トレーナーによる「安全行動の基本」教育を継続 ②重篤災害に繋がる転倒・転落災害の防止 ③安全作業マニュアルの100%遵守 ④継続した5S活動の推進	下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	
2024年度上期の活動の評価と見直し	①2024年度上期労働災害件数 【労働災害】3件(2023年度上期2件 前年差+1件) 【通勤災害】1件(2023年度上期0件 前年差+1件) 【24年度上期発生労災詳細】 ①トラック降車時、荷物の左足が挟まれた状態で負傷しそのまま転落 ②配達中の腰痛 ③冷凍庫内での転倒(転倒のタイミングで持っていた蓄冷板で顎下を負傷) 【想定していなかった災害ストーリーへの対応】 ①「荷台」・「冷凍庫内」での新たなストーリーを追加→低減措置完了 ②現場で作業する地域担当者と一緒に、起こりうるリスクを洗い出し、想定外のリスクに対しても先回りが必要		

…取組期間 → 備考: ○・100%実施、△・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目標	担当	実施スケジュール						評価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
①重篤災害につながる転倒・転落災害の防止	1 グロス用ラッシングベルト活用の継続	①全従業員が安全作業マニュアルの100%遵守 ②繁忙期・年末年始無事故無災害 ③荷台の通路スペースを意図的に確保し、24年度上期に起きた労災(荷台で足を負傷・転落)と同様案件を発生させない	班チーフ・担当	→								
	2 荷台の安全な開閉行動(シャッター車)の継続		班チーフ・担当	→ 随時実施								
	3 繁忙期における労働災害の防止		全従業員	→								
	4 荷台降車用通路スペース確保(試験導入)		該当KC・本社スタッフ	→ 試験導入								
	5 「足もとヨシ」の取り組み強化		全従業員	→								
②リスクアセスメントの継続強化	1 取り組みの部内周知及び視野拡大	①「リスクアセスメント」を全社員が周知 ②新たな危険源を複数発見 ③リスクの種類によって新ルール制定	所長・班チーフ	→								
	2 新たな危険源集約・優先順位選考		全従業員	→								
	3 リスク低減措置の実施		所長・班チーフ・担当	→								
③継続した5S活動の推進	1 構内・作業場の整理整頓	①構内・作業場での転倒事故0件 ②5S項目・個人ノートボックスの整理整頓を特に強化し、繁忙期の個人情報混入・紛失を防止する ③流行感染症による欠勤者数削減	全従業員	→ 随時実施								
	2 個人情報紛失・混入防止		全従業員	→								
	3 手洗い・うがいの強化を行い感染症リスク削減		所長・班チーフ	→ 随時実施								
①安全衛生教育	1 雇入れ教育の危険予知活動の継続	①労災防止に対し必要な予防対策を実施することにより従業員に必要な知識を付与する ②積込時、配達時の腰痛発症を未然に防ぐ	所長・班チーフ	→ 新人・異動者に対して随時指導								
	2 腰痛予防体操の100%実施徹底		全従業員	→ 随時実施								
	3 安全作業マニュアルのアップデート		宅配事業本部	→ 追加項目必要時随								

2024年度 下期 トータルサポート事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2024年 10月 1日

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	【安全衛生診断評価】 ①低評価項目より優先課題を抽出し、全体での評価を向上させる(2024年度評価3.3P) ②「危険予知活動」の推進と定着 ③各部署責任者において「RA活動」「5S活動」の継続を進め、より良い職場環境を整える ④交通事故減を目指し、ドライバーの意識向上を目指す ⑤通勤災害、職場での労災ゼロへの取り組みを強化する
事業部方針	3つのゼロ(交通事故0 業務上災害0 ハラスメント0)を念頭に置き、社員全員が健康で元気に風通しの良い職場環境で働き続けることが出来る仕組みづくりを目指すことで、安全文化の醸成に尽力します。	目標	【取り組み数値目標】 労働災害下期・・・1件 交通事故下期・・・1件 安全衛生委員会100%実施
事業所方針	安全衛生部会を中心に安全環境整備を強化します。 社員が安全に対する「心構え」を維持できるような環境づくりを図り、危険予知や過去事例から学ぶ仕組みを整備します。 社員から、安全に対する自発的な意見が出るような雰囲気づくりに努めます。	下期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	
2024年度上期の活動の評価と見直し	・「リスクアセスメント活動」の推進と継続、2023年度の全体型アンケートの取り組み、低減措置による改善進捗は部署間において差がでてきている現状、があり、繰り返しの取り組みとなるため、形骸化を防ぎ新たな活動計画が必要と考える。 ・「5S活動」の推進と継続、現場での「いらぬものリスト」の作成をおこない、廃棄処分を行う計画ができた。今後計画どおりに廃棄予定。 【定位置・定品・定量】への取り組みの先駆けとして、メール棟の定位置管理ラインを設置をおこなった。2025年度1月を目途にA棟かさ高・セットセンターにて定位置管理ラインを設置予定。B棟リサイクル作業・印刷在庫・メール在庫においては、事業運営規模に応じた配置を検討、確認立案が出来次第着手の予定。 【労働災害事故 2件発生 交通事故 5件発生】		

備考: ○・・・取組実施月 ……取組期間 → 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
3つのゼロの取組み	1 重篤災害につながる転倒・転落災害の防止	労働災害0件 交通事故0件	本部	→								
	2 季節ごとの啓発ツールを周知する(10月・1月)		事業部長	○			○					
	3 繁忙期における労働災害の防止(12月～1月)		マネジャー			○	○					
リスクアセスメント 継続強化	1 「ヒヤリハット」からの危険個所の抽出(11月)	「ヒヤリハット」でのアンケート100%回収 RA活動低減措置の改善各部署2つ以上	安全衛生部会		○							
	2 新たな危険源の集約と優先順位の設定(12月)		各部署責任者			○						
	3 リスク低減措置の実施(1月～3月)		部長・マネージャー					→				
5S活動の推進	1 継続して5S活動が行える仕組みづくり	5S活動計画と実施 廃棄下期中に実施 「定位置管理ライン」の設置 職場巡視の作業参画	安全衛生部会	→								
	2 「いらぬものリスト」による廃棄を実行		各部署責任者	○								
	3 「定位置管理ライン」A棟作業場設置(1月)		部長				○					
	4 作業参画型の職場巡視の確立(2月)		マネージャー					○				
「危険予知活動」	1 現場での危険予知活動の推進	月一度にてガールンスペースへUP	TS安全衛生部会	→								
	2 ガールンスペースにて危険予知活動をUP		各部署責任者	月一	月一	月一	月一	月一	月一			
	3 所属「手順書」「標準書」への安全ポイントの追記		全社員	都度	都度	都度	都度	都度	都度			
「ヒヤリハット」	1 社員全体型アンケートの実施	「ヒヤリハット」からRA活動への取り組み実施と低減措置への改善	本部	→								
	2 「ヒヤリハット」からの危険個所の抽出		安全衛生部会		→							
	3 RA活動へつなげる取り組みの実施		全社員		→							